



## 失業手当の給付期間の延長を

・失業給付は短い方は90日間。  
「もうすぐ失業手当がきれるが求人がない」と悲鳴があがります。リーマンショックの時は失業給付の期間を延長しました。今回も延ばすよう求めました。60日間の延長の法案が提出される予定です。

第二波、第三波にむけ、ベッドの確保、検査体制の拡充を：重症患者を治療する体制を目標をもつて拡充すること、中等症の病床、軽症者の療養施設もよどりをもつて確保すること、早期発見、早期隔離のために、抗原検査、PCR検査体制の拡充を安倍首相に求めていました。

医療関係者、介護関係者らに危険手当、特別手当を：医療関係者に国の責任で危険手当をだすこと、また、介護、福祉職場に、国の責任で特別手当を支給することを求めました。二次補正予算に盛り込まれました。

住宅確保給付金の対象拡大：家賃が払えないことで新たに住まいを失う方が出ないように、住宅確保給付金の要件を緩和し、失業要件をなくすことを求めました。その後、事務連絡で、離職者という要件がはずされ、支給対象の拡大が行われました。

無給休業をただせ：休業手当は正社員だけで、非正規労働者は無給休業の大企業もあります。労働基準法違反の無給休業は厳しく是正すべきと求めました。安倍首相からは休業手当不払い事案には労基署が監督指導をおこない、休業手当の支払いの決定を周知していくと答弁しました。

就学援助、収入急減世帯も対象に：就学援助について家計急変の場合に対象とする制度がない自治体があると指摘、全自治体で制度をもうけ、全世帯に新型コロナの影響で家計急変の場合は就学援助ができるよう周知すべきだと提案しました。対象者は自治体あてに家計急変であること、保護者に周知することを求めるところだとの通知をだしました。

した。

## 内定取り消し、大量解雇への指導

導を：内定取り消しを起させない働きかけとともに、国が経営の悪化した企業を支えるよう提案しました。その後、厚労省は、経済団体へ内定取り消しをおこなわないよう要請し、また雇用調整助成金の対象に新卒者も加えました。また、タクシー会社の大量解雇をとりあげ、指導を要求しました。その後解雇は撤回されました。

## 雇用調整助成金の拡充：2月からくり返し雇用調整助成金の要件緩和、助成率10分の10引き上げ、上限引き上げを提案してきました。要件緩和、助成率UP、上限の1万5千円への引き上げへ一步一歩すすんできました。

## 大胆な文化芸術への支援を：

演劇や映画館など巨額の損失が出ています。「必要な事業者に必要な規模で」文化芸術支援として大胆に支援する必要があると安倍首相に求めました。二次補正予算に盛り込まれました。

## 資金繰り支援、貸し渋りへの指導

「別枠は建前」といわれ、事業存続の危機の業者も、事業が存続できるよう経産省、金融庁から指導するよう求め、政府も指導を約束。

## 無担保融資を打ち出しています。

しかし、日本政策金融公庫から「別枠は建前」といわれ、事業存続の危機の業者も、事業が存続できるよう経産省、金融庁から上限3000万円の実質無利子・無担保融資を打ち出しています。

## 病院、歯科医院、介護事業所、障害者事業所の減収の補てんを

院は億単位の減収となっています。また、歯科を含めて受診抑制で医療機関の多くが大幅な減収です。通所介護をはじめとした介護事業所や、障害者福祉の事業所でも利用控えで大きな減収となっています。医療、介護、障害者福祉の基盤をまもるために、減収を補填すること、前年並みの収入を確保することを繰り返し求めています。

## 保険証がない人に短期保険証

手元に保険証がない人が医療にかかるように提案。厚生労働省は、資格証明書を短期保険証とみなす通知を発出しました。また短期保険証をとめおいている自治体を教えてもられば個別に対応すると加藤厚労大臣が表明。

## コロナ疑いで仕事を休んでも収入を補償する制度を：感染拡大防止のためにも、非正規雇用の方も含め「風邪症状」で仕事を休める環境整備が緊急に必要と繰り返し提言。その後、厚生労働省は収入に配慮した病気休暇制度の整備を経済界に働きかけました。また、非正規雇用や自営業の人などが入る国民健康保険に市町村が傷病手当制度をもうけられ、被用者については国が満額支給する」と。

## フリーランス、個人事業主の傷病手当金制度を：国民健康保険の新型コロナ対応の傷病手当制度について、個人事業主やフリーランスが、国の財政措置の対象となるべきではありません。自治体独自で差別せずに個人事業主を対象にしている例を示し、国の財政措置を行いうよう求めています。

## 訪問介護のヘルパー確保のための緊急策を：コロナ禍のなかで、介護・障害者福祉の基盤の脆弱さが露呈しています。とりわけ通所介護を使えなくなつた利用者の新たな訪問介護のヘルパー確保は困難をきわめています。確保のための緊急策を求めました。しかし安倍首相は、必要な代替サービスの確保がおこなわれるよう周知を徹底するというだけです。

## 訪問介護のヘルパー確保のための緊急策を：コロナ禍のなかで、介護・障害者福祉の基盤の脆弱さが露呈しています。とりわけ通所介護を使えなくなつた利用者の新たな訪問介護のヘルパー確保は困難をきわめています。確保のための緊急策を求めました。しかし安倍首相は、必要な代替サービスの確保がおこなわれるよう周知を徹底するというだけです。

介護・障害者福祉の基盤の脆弱さが露呈しています。とりわけ通所介護を使えなくなつた利用者の新たな訪問介護のヘルパー確保は困難をきわめています。確保のための緊急策を求めました。しかし安倍首相は、必要な代替サービスの確保がおこなわれるよう周知を徹底するというだけです。

## の補償：一斉学校休校で仕事を休む場合、雇用者に加え、フリーランス等への補償も必要」と追及。

安倍首相は「雇用調整助成金制度の拡充・補完を含めて検討進めると述べました。1日8千330円の補償制度ができました。

## 一斉学校休校のフリーランスへの補償：

一斉学校休校で仕事を休む場合、雇用者に加え、フリーランス等への補償も必要」と追及。安倍首相は「雇用調整助成金制度の拡充・補完を含めて検討進めると述べました。1日8千330円の補償制度ができました。

## 事業者の家賃支援法案

新規事業者も含め家賃を支援する法案。

→政府も家賃支援の具体化へ

## 学生生活支援法案

授業料の半額免除と最大20万円の給付金の法案。

→政府も学生に給付金を決定。

以下の法案以外にも、今国会、野党は、年金の運用でリスクの高い株式の運用比率を漸進的に引き下げる法案、障害者福祉の分野での食事加算や送迎加算の維持、重度訪問介護が通勤にも使える法案などを提出しています。

## 介護・障害福祉職員の処遇改善法案

他産業より賃金の低い介護・障害者福祉の職員。

コロナ禍のなか、利用者を支えるみんなの賃上げを提案。

→政府も介護・福祉職員への手当てを検討へ



# 野党で法案の提案—政治動かす

日本共産党は、立憲民主党や国民民主党、社会民主党などのみなさんと協力して、コロナ対策をはじめ、国民の暮らしを守る法案を国会に提出。積極的提案は、政府と党を動かす力となっていました。

## PCR検査促進法案

医師が必要と認めた検査を迅速に実施する法案。

→政府もPCR検査の保険適用へ

## ひとり親世帯支援法案

経済的に苦しむひとり親家庭への支援の法案。

→政府もひとり親家庭への支援へ。